



朝日町町制施行70周年記念 企画展

ラクダのコブは3つまで？

# 武市萌美 インドの世界 写真・映像展

2024年6月28日(金)~9月8日(日)

開館時間：9:30~16:30 (入館は16:00まで)

休館日：火曜日 入館料：大人300円 小中高生200円

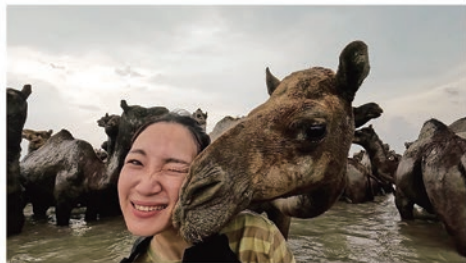
※他の展覧会をご覧の場合は料金が異なります

主催：朝日町 朝日町教育委員会 (一財)朝日町文化・体育振興公社

共催：北日本新聞社

後援：北日本放送 富山テレビ放送 チューリップテレビ 新川コミュニティ放送 みらいTV

読売新聞北陸支社 富山新聞社 北陸中日新聞 朝日新聞富山総局 毎日新聞富山支局



「ラクダのコブって本当は何個まであるんだろう？」という他愛もない疑問から不思議なラクダの魅力にぐいぐい引き込まれ、現在は体一つで世界を駆け巡るようになった武市萌美。

天性のアーティスト気質と美容師の資格を活かし、相棒のラクダ選びから始まり、デザイン・構成・カットのすべての作業を一人で行う、女性では唯一のラクダの毛刈りアーティストとして活躍中。2019年には世界1位に輝いた。(2024年は2位)

また、テレビ番組のオーディションにおいて、ナレーターとしてインド担当に抜擢。

(珍しいラクダがいると聞けば向かすにはいられない)その類稀なる行動力で、番組を通じて【幻の泳ぐラクダ】を探し出し、約200頭のラクダとともに河を渡る貴重な経験を実現させた。そんな武市が大切にしているラクダやインド、現地の人々との出会い、コミュニケーションが稀薄になりつつある現代で、彼女ほど世界の人々と温かい触れ合いを体験している者は、そうはいないだろう。すべては彼女の興味から始まった壮大な世界。夢を現実にする行動ほど魅力的なものはあるだろうか。

今展では、現にも最前線でラクダ愛を発信し続ける武市が撮影した写真や映像、美しいラクダアートの魅力は大画面を通して紹介。

私たちが日常では体感することはできないであろう過酷な生活を全身で楽しむ武市萌美の素晴らしい世界観を映像を通して体験しよう。

今展覧会は朝日町立ふるさと美術館初の映像展となります。普段の美術館とは一味違う、臨場感溢れる空間をぜひお楽しみください。

※武市氏は主にインドの布を用いて染色、ブロックプリントという手法でバッグや布小物、洋服などのハンドメイド作品も制作しています。

今展では展覧会に合わせて彼女が制作した布雑貨も販売します。

泳ぐラクダ達と本人



ラクダの毛刈りアート 武市萌美 作



アクセス

車の場合：北陸自動車道朝日I.C.より10分

電車の場合：あいの風とやま鉄道泊駅よりタクシーで15分

〒939-0724 富山県下新川郡朝日町横水 300

TEL 0765(82)0094 FAX 0765(83)3636



朝日町立ふるさと美術館  
FURUSATO ART MUSEUM